

審議会等の会議の記録

会議の名称	伊勢崎市健康づくり推進協議会
開催日時	令和4年7月7日(木)午後1時30分
開催場所	伊勢崎市役所東館3階災害対策室
出席者氏名	高橋ゆかり委員、金井伸一委員、黒澤希代子委員 櫻井則子委員、木村昌代委員、桐生厚子委員、中西保委員 細渕晋一委員、高木剛委員、下城賢治委員
傍聴人数	—
会議の議題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 会長あいさつ 3. 委員自己紹介 4. 事務局職員紹介 5. 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 令和3年度事業実績報告 (2) 令和4年度事業計画説明 (3) 新型コロナウイルスワクチン接種について (4) がん患者ウィッグ等購入費助成事業について (5) 新保健センター・子育て世代包括支援センターの基本設計について (6) その他 6. 閉会
会議資料の内容	<p>(事前配布した資料)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 令和4年度伊勢崎市健康づくり推進協議会会議資料(令和3年度保健事業実績、令和4年度保健事業計画の詳細) 2. 新保健センター・子育て世代包括支援センター基本設計計画説明書 3. 新型コロナウイルスワクチン接種について 4. ウィッグ等購入費助成事業のご案内 <p>(以下、当日配布した資料)</p> <ol style="list-style-type: none"> 5. 令和3年度事業実績概要、令和4年度事業計画(重点・新規事業の概要) 6. 新保健センター・子育て世代包括支援センターの基本設計について

会議における
議事の経過
及び発言の要旨

1. 開会

2. 会長あいさつ

近頃伊勢崎市は暑さで全国一位等とされているところであるが、ここ数日はしのぎやすい気候となっており安心である一方、コロナの拡大は心配される。

本推進協議会は市民の健康づくり事業を総合的に推進するための関係団体等の諮問機関である。

本協議会の皆様には、円滑な保健事業推進のため、各機関の代表として専門的な立場からご意見を頂きたい。

3. 委員自己紹介

4. 事務局職員紹介

5. 議事

(1) 令和3年度事業実績報告

(2) 令和4年度事業計画説明

事務局より説明。

(以下質疑)

委員

○健康づくり事業の地区組織との連携における説明で、アンケート調査を実施したとあったが、調査内容と結果について伺いたい。

事務局

○家庭訪問にて、昨年度の12月から1月にかけて、65歳以上の在住者を対象に、食生活改善推進員による家庭訪問を817件実施した。

訪問場所、対象年齢、性別、世帯状況等のアンケートを取った。訪問先の対象としては、70代が57.3%とその多くを占めた。性別については、全体の88.5%が女性であり、そのほとんどを占めた。世帯の形態としては、家族と同居が78.5%、ひとり暮らしが20.6%となった。

食事回数について質問を行い、1日3回が95.6%であった。また、朝食に主食、主菜、副菜をとっていると回答した人は82.3%であった。昼食に主食、主菜、副菜をとっていると回答した人は74.3%であった。夕食に主食、主菜、副菜をとっていると回答した人は90.8%であった。主食、主菜、副菜が揃った食事が3回と回答した人は62.5%であった。

健康いせさき21の計画において、1日に2回以上、主食、主菜、副菜が揃った食事をとっている人は、R6年度における目標値が90%であり、本アンケートでは88%であったため、今後、より普及啓発に努めたい。

そのほか食品別にどの程度とっているかのアンケートを取った。フレイル予防の食材について、頭文字「さあにぎやかにいただく」を使用して、魚、油、肉等について、聴き取りをした。

	<p>委員 ○アンケートを配布して回収等ではなく、対面での調査か。</p> <p>事務局 ○対面での聞き取りによるもの。</p> <p>委員 ○国民健康栄養調査も感染症の影響で実施できていない中でこのような取り組みは良かったと感じる。全般的に、高齢者が意識して栄養をとれていることがわかった。結果公表は行っているか。</p> <p>事務局 ○結果公表は行っていない。なお、本アンケートは通常の食生活改善推進員の活動である調理実習の代替として、令和3年度に初めて行ったもの。今年度も継続して実施する予定。</p> <p>会長 ○国民健康栄養調査も行えない中で、貴重な取り組みであると感じる。結果に関して、全国と比較しての伊勢崎市の特色等はあるか。</p> <p>事務局 ○特に比較は行えていない。健康いせさき21の中で、主食、主菜、副菜が揃った食事を推進しているので、それに沿って実施したもの。</p> <p>委員 ○2歳3か月児歯科健康診査の受診率が59.7%であり、他の各種乳幼児健康診査の受診率に比べて低い。2歳3か月児歯科健康診査を、今後現在の個別健診から、以前の集団健診へ戻したり、変更したりする予定はあるか。新型コロナウイルス感染症の影響もあるとは思われるが、以前の集団健診時はもう少し受診率が高かったと記憶している。</p> <p>事務局 ○2歳3か月児歯科健康診査については、令和3年度より個別健診での実施に変更した。新型コロナウイルス感染症の影響により、集団健診での実施が難しく個別健診に変更した。受診者自身が日程を予約する必要がある手間等もあり、受診率が低くなっていると思われる。今後、現在も行っている個人通知に加え、より周知を強めて、受診率向上も踏まえた上で個別健診を継続していきたい。</p> <p>(3) 新型コロナウイルスワクチン接種について 事務局より説明。 質疑、特に無し。</p> <p>(4) がん患者ウィッグ等購入費助成事業について 事務局より説明。 (以下質疑)</p> <p>委員 ○ウィッグ等の価格の実情がわからないがこの補助額は十分か。実際として助成の割合は適正なのか。</p> <p>事務局</p>
--	--

○助成対象の品により、金額は様々であるのが実態。ウィッグの助成金額は3万円が上限であり、上限に満たない申請の方もいるが、3万円以上の購入費である方が現在は多い。乳房補整具も同様であり、上限の1万円以下の方もいるが、それ以上の方もいる。

委員

○実際として5割程度は補助できるか。

委員

○相応に高いものもあるため、なかなか難しいのでは。

会長

○金額により助成の割合は変わってくるか。なお、ウィッグは31件とだいぶ活用されていると考えられ、いい支援と思われる。

委員

○了承。

(5) 新保健センター・子育て世代包括支援センターの基本設計について

事務局より説明。

(以下質疑)

委員

○外観イメージを見ると、屋上に斜めのパネルが見えるが太陽光パネルか。

委員

○そのとおり。

委員

○施設規模等から電気必要量が多く思われる為、それらへの配慮か。

委員

○群馬県の条例により、脱炭素等の関係から、環境に配慮した設備設置等が義務付けられる予定。新施設はその対象とはならない見込であるが、環境への配慮から設置したい。

委員

○現行の各保健センターは今後どのような扱いになるか。

委員

○統合後取壊しとなるか、違う施設を整備するか等はこれから協議であるが、保健センターのうち、健康管理センター、あずま保健センター、境保健センターは非常に老朽化しており、また、耐震性もないことから、取壊しの方向性で検討している。

委員

○了承。

会長

○伊勢崎市は外国人の方も多い。看板等の日本語以外の言語の対応は予定しているか。

委員

○配慮が必要と考えており、詳しい場所、標記等の詳細の検討はこれからを予定している。

	<p>会長 ○子育て世代と高齢者の世代間交流について、高齢者の単独世帯も増えている中で、新施設が市内中央への建設となるため、世代間交流の場所となるよう高齢者も活用できる場所とされたい。</p> <p>(6) その他</p> <p>委員 ○今年6月の猛暑があったが、今後は熱中症予防が非常に健康づくりで重要となってくる。実際に熱中症での搬送数や入院数は把握できるのか。</p> <p>事務局 ○毎年12月に調査を行い、熱中症に係る救急搬送の数を把握している。年代、時間帯の傾向等も把握し、出前講座等へ役立てている。夏場の注意喚起にもそれらのエッセンスをいれ、啓発している。</p> <p>委員 ○熱中症対策は当然今後推進していかなければならない。取組の成果が出たかについても先々検証されたい。</p> <p>事務局 ○なかなか評価が難しいところもあるが、今後その視点も踏まえて進めたい。</p> <p>委員 ○館林や熊谷市が暑さで注目されたことにより、対策が進んだ面もあると考えられる。伊勢崎市も同様に考え、対策を進めてほしい。</p> <p>委員 ○水道事業者に寄付頂いたミスト発生器を伊勢崎駅前に工事し設置予定。そのような面から進めていきたい。 ○新型コロナウイルス感染症に関連し、夏場でのマスクの取扱いも変わってきている。市としてはワクチンを積極的に接種して頂く方向性で進めている。ワクチンは重症化予防につながるため進めていきたい。</p> <p>6. 閉会</p>
--	--